

一般質問

今回の一般質問は3月14日に行われ5人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

ここを、ただしました

福祉対策
高嶺虎男議員
父子家庭に支援を
今後の検討課題



男女雇用均等や男女共同参画の制度が確立され、社会活動の中で男女均等の原則が平準化されています。

現代社会が福祉の時代でありながら、父子家庭への支援が取り残されています。母子家庭と同等、児童扶養への支援や相互扶助の組織的活動の指導支援の取り組みが望まれています。財政ひっ迫の現状で

ありますが、広く福祉を充実するために置き去りできません。町長の考えを伺います。

町長 父子家庭への福祉施策にあたっては、福祉行政本来の目的でありま

す、社会的弱者への支援という定義を定めた上で法を遵守し、母子寡婦福祉協議会と類似した組織設立の検討など、必要があればあわせて検討を進めていく必要があるのではないかと考えています。現在父子家庭への施策といたしまして、ひとり親家庭医療助成事業が対象となつて扶助支援して

観光振興
四位芳彦議員
ダム周辺の環境整備は
湖面利活用を推進する



町長は、施政方針の中で、「観光資源の大きな目玉の一つがダムであり、ダム湖周辺の環境整備は、今後の観光振興にとって重要であると考えています。多くの人に親しまれ、魅力ある場所となるよう、ダム管理所と一体となつて努力してまいります。『奥薩摩、水と緑の郷づくり構想』を国・県関係市町と連携しながら推進することで、広域的な観光ルートの確立を



今年で10回を数えた鶴田ダムジョギング大会

図ります。」と言われている。これらの具体的な取り組みの考えと、地理的条件を生かしたイベントとして、ダムジョギング大会が行われてきたが、今年の10年を目前に一時休止したいとの説明がなされた。一時休止の理由はなぜか、総務常任委員会の総意として考えを伺いたい。

町長 鶴田ダム管理所では川内川流域の民間人を主

体として「鶴田ダム水源地ビジョン構想」をまとめてあり推進協議会の提言を取り入れて、へらぶな岬の整備を図つてもらっています。今後構想にある湖面利活用の促進のための施設の整備等、管理所と十分協議し、あわせて奥薩摩水と緑の郷づくり推進協議会の関係市町とも連携しながら広域的な観光ルートの確立に努めたい。ジョギング大会については、15年度予算編成において、経費の削減、骨格予算とする方針の中で一時休止扱いとしたが、参加者のアンケート調査の結果等から見て今後も続けていくべきではないかと思つて

青少年教育
高嶺議員
情操教育の実践は
地域の人材・素材を活用



集団宿泊学習で老人ホームを慰問する子どもたち

15年度の施政方針に、心に届く教育の一環として、小・中学校の集団宿泊等による自然生活体験活動の計画がある。住民が求め期待する事柄です。これの具体的な実施計画や内容を伺います。また、昨年4月から実施さ

れた総合学習の時間の成果と、今後の活動方針を伺います。教育長 生活体験や自然体験の機会として、町内の小学校5年生全員が、5月に川内市立少年自然の家で2泊3日の集団宿泊学習をし、また、中学校1年生全員が、9月に鹿児島県立青少年研修センターで1泊2日の集団宿泊学習を計画しています。総合的学習の時間は、

域の人材や素材の活用、環境を活用して、各学校の学習が充実したものになるよう支援していきたいと考えています。